

歴史の一部になるということ

ルワンダ大虐殺から19年

ルダシングワ真美

ムリンディ・ジャパン・ワンラブ・プロジェクト日本事務所代表

ルワンダの歴史を振り返り、現在までの様子、そしてそこで
行ってきた障害者支援活動のことについて、講演をしたい。

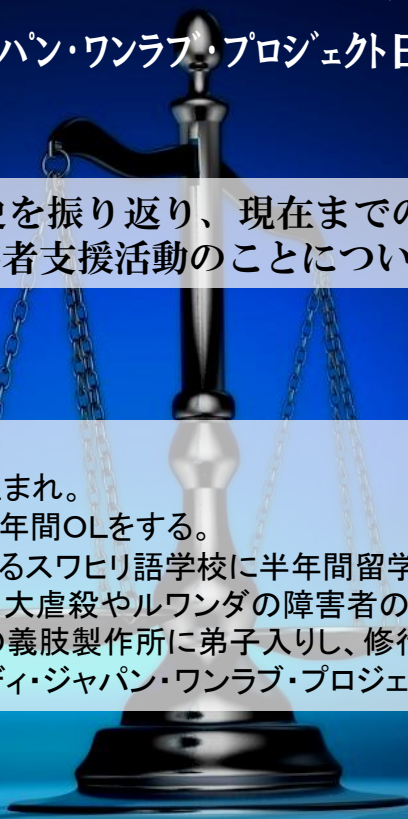
【講師紹介】

1963年神奈川県茅ヶ崎市生まれ。

英語の専門学校卒業後、約6年間OLをする。

1989年ケニア・ナイロビにあるスワヒリ語学校に半年間留学し、その後東アフリカを旅行中に、パートナーのガテラと出会い、大虐殺やルワンダの障害者の状況を聞き、義肢装具士になることを決意、1992年より横浜の義肢製作所に弟子入りし、修行をする。

1996年ガテラと共にムリンディ・ジャパン・ワンラブ・プロジェクトを設立。現日本事務所代表。



同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科では、連続セミナー「グローバル・ジャスティス」を開催いたします。このセミナーは、現代世界が直面するさまざまな課題における「ジャスティス」の問題を、講師が自らの視点で語っていくものです。したがって、どのような視角で、何を問題としてジャスティスを論じるかは講師にゆだね、主催者は一切の方向性をあらかじめ規定いたしません。ジャスティス(正義)という言葉のもつ多義性や問題性もふくめて、多様な議論の場として提供していくものです。

日時：4月9日(火)

18:30-20:00

会場：志高館 SK101

共催：GRM(グローバル・リソース・
マネージメント)プログラム

来聴歓迎
予約不要

同志社大学
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930

e-mail. ji-gs@mail.doshisha.ac.jp